

みはま支援学校 第3回学校運営協議会

令和4年度 第3回【11月5日(土)】9:30~11:30

出席者：委員5名 事務局員1名(事務長)

議題

- ①校長挨拶、本日の予定(第3回学校運営協議会)について
- ②文化祭前半見学(中学部発表 高等部ダンス)
- ③協議(前回運営協議会からの取組及び課題)
- ④文化祭見学(高等部選択音楽 和歌山病院入院生発表 軽音楽)
- ⑤文化祭評価 感想 今後へ向けて協議
- ⑥文化祭マルシェ販売 学年催しに参加

議論した主な内容

- キャリア教育として先輩から学ぶ授業は、後輩にとって先輩の頑張ってる姿や仕事への意識等、とても意欲の高まる取組で、就業支援ワーカーとして、とても嬉しい話である。
- 文化祭という行事を通して、テーマであった「仲間を信じて一致団結しよう」が達成できたのではないかと。生徒の様子からも文化祭を観ていて、達成感や充実感を感じることができた中味であった。子供達はひとつになれたのではないかと。音楽の力もあらためて感じることができた。
- 和歌山病院の子供達の様子から先生達が子供達の持てる機能を引き出そうとする想いを感じる。環境設定をととても工夫されている。
- 体育のダンスも生徒達で曲を考え、振り付けを話し合ったりしながら、とてもいいものができていた。高1～高3まで縦割りでタイプの違う生徒達が作り上げてきたダンスを観ていて、対話や話し合いを高めながら取り組んできた様子は親としてとても嬉しかった。
- 生徒も増加し、卒業生も含め、より先輩から学ぶ機会が増え、学校としてもよい循環ができています。進路、文化祭などより多様な環境が充実してきている。あこがれや体験があって生徒の成長を感じることができた文化祭であった。
- みはま支援学校の教育相談は地域の要請も多いが、教育相談担当の方々の丁寧で親切なやりとりから、みはま支援が安心できる環境だと感じ、入学を希望する生徒や保護者もいるのではないかと。
- テレロボ等の取組は生徒の興味を引き出しそうである。先生達が何人か取り組んでみて、子供が面白さを感じれば、みはまの生徒にはとてもいい教材である。
- 和歌山病院に入院している生徒の笑顔や反応から成長している姿を観て、元みはま支援学校の校長として感涙した。



- ・障害特性に応じた授業づくり
- ・ICT機器の有効活用の推進
- ・校内外における病弱教育の専門性の充実
- ・防災委員会の活動推進

今後の予定

第4回 令和5年 2月17日(金) ※学校評価等

校長室で協議



運営協議会委員



舞台発表見学



委員による学年催しへの参加。



